

1 国語に関する調査

【特長】

- 様々な情報の中から原因と結果の関係を見だし、結び付けて捉えることや情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができている。
- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることは、比較的できている。

【課題】

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題が見られる。複数の本や資料に書かれていることを比較したり関連付けたりすることが、自分の考えを広げることにつながることを実感できるような指導をより充実させる必要がある。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られる。配当されている漢字を書く場面を設定し、文や文章の中で使うことに一層取り組む必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- データを整理する観点に着目し、示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み比べ、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することができている。
- $(2 \text{ 位数}) \div (1 \text{ 位数})$ の除法の筆算について、被除数を十の位と一の位に分けることを用いて考えながら、計算に関して成り立つ性質や図を基に、各段階の商の意味を考察する力が、比較的身に付いている。

【課題】

- 問題場面の数量の関係に着目し、 $()$ を用いた式や加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることに課題が見られる。具体的な場面と関連付けて、式の中の数値や演算は何を表しているかを明らかにして説明する活動を充実させる必要がある。
- 図形の構成の仕方を基に図形の意味や性質について理解し、図形を弁別したり、図形をつくるために見通しを立てて操作したりすることに課題が見られる。図形の観察や操作活動などを通して、図形の意味や性質を考えることができるような学習活動に取り組む必要がある。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 「学習の中でタブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立つ」と思っている児童が多い。また使用時間に個人差はあるが、学校の授業時間以外にタブレットなどのICT機器を勉強のために使っている児童が多い。
- 「国語の勉強は大切で、学習したことは将来、社会に出たときに役立つ」と思っている児童が多い。「英語の勉強が好きで、大切である」と思っている児童も多い。

【課題】

- 自分のよさに気付いたり、先生からよさを認められたりして自己有用感を感じている児童が多くはない。特別活動や話し合い活動等の中で、互いのよさを認め合うこと、周囲が児童一人一人を受け止め、児童のよさを伝えていくことに一層努める必要がある。
- 「将来の夢や目標を持っている」「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合が低い。今努力すべきこと等の目標設定や振り返りを行い、達成感とねばり強さを培ってきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 児童が探究的に課題・問題解決ができる授業になるよう、日常生活から学習材を見出し、授業研究・教材研究を引き続き充実させていく。
- 自信をもって表現できるよう、ICT機器を効果的に活用して、多様な表現方法を設定し、異なる考えを認めたり生かしたりして、自分の考えをまとめられるように取り組んでいく。
- 学級活動や特別活動の委員会・クラブ活動、学年縦割り活動等で児童の特性を生かし、自分や仲間のよいところに、より気付けるよう工夫していく。
- いじめは許されないことだという意識等を育むために、教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図っていく。安心できる環境づくりを心がけ、一人一人に寄り添い、子供たちと一緒に考えることを大事にしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 子供たちが、自己有用感を感じ、自信をもって取組む姿を願っています。そのためには、学校やご家庭の中で、子供たちのよさや成長を認め、そのことを子供たちに伝える機会を多くつくるのが大切です。今後も、ご家庭で、見守り、寄り添い、ときには一緒に考えたり、活動したりしていただけるような関わりをお願いします。
- パソコンやスマートフォンなどを利用する際には、ルールを話し合って決めることが大切です。定期的にお子様と一緒にご確認ください。
- 地域・家庭・学校のつながりを大切に、地域への愛着心を育てていきたいと思います。